憲法でアクション!!ケアに満ちた社会を切り拓く
ナース★アクション
vol.44
2026.11.2
全日本民医連
職員育成部
https://kirarikango.com/



看護学校を守り、地域医療を支えよう！団体署名を、全国に広げよう

10/30 日本看護学校協議会と全日本民医連がオンラインで懇談

日本看護学校協議会からの提案・説明

水方会長より、看護学校が置かれている厳しい現状と団体署名の趣旨について説明がありました。

看護学校は、地元の高校生や社会人などが地域で看護師を目指せる大切な学びの場です。地域の医療機関と連携して看護師を育て、卒業生は地域医療を支えています。

看護学校がなくなることは、地域で看護師を育てる機会が失われ、将来の看護師不足や地域医療にも大きな影響を及ぼします。

団体署名で国に求める5つの要望

1. 看護師養成所を地域医療の社会基盤と位置づけ
2. 運営補助金の大幅増額
3. 看護学生への経済的支援
4. 統廃合・集約を前提としない政策
5. 現場の声を政策に反映

懇談で提示された「全日本民医連の皆様へのお願い」

日本看護学校協議会からは、全日本民医連への団体署名の賛同と、各病院・関係団体への協力の呼びかけについて、資料を提示いただきました。

ぜひご覧いただき、ご活用ください。

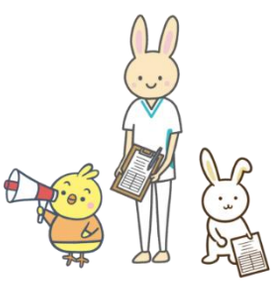


★掲載場所
きらり看護HP「職員専用のページ」→「学習動画」→「⑥ナース・アクション」

「看護師がいない」各地の切実な声

民医連からは、各地の看護師不足の深刻な実態を報告しました。卒業生の県外流出、看護師不足による病床の縮小、震災で被災された病院の存続も危ぶまれる状況が語られました。一方では、地域の医療を看護養成校の卒業生が支えていることが紹介されました。

看護師養成校の存続は、地域住民が必要な医療を受けられるかどうかに関わる問題です。



団体署名を全国に広げよう

全日本民医連として団体署名に賛同し、地域で連携している病院・診療所や介護事業所、共同組織や関係諸団体などにも協力を呼びかけていくことを確認しました。

看護学校を守ることは、地域医療と住民の命を守ることです。幅広い人たちに署名を広げていきましょう。